



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1127 / 2012. 11. 30

例 会/ANA インターコンネクトホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

東京赤坂ロータリークラブ週報 Weekly Report

2012~2013 年度クラブテーマ
会長 尾関 武男

「僅かなことにも手を差し伸べよう、そして信頼と絆」
Give a hand to even to the small things. Build trust and bonds.

●本日の例会/ 2012 年 11 月 30 日 第 1234 回

東京麻布 RC・東京赤坂 RC 合同例会

卓話予定:「新人の育て方」

株式会社酒井プロデュースオフィス

エグゼクティブプロデューサー 酒井 政利 氏

●前回報告/2012 年 11 月 16 日 第 1233 回例会

卓話:「銀行雑感」

綜警常駐警備株式会社

代表取締役社長

松本 智 氏

(当クラブ会員)



社会奉仕委員会: (橋本委員長)

1. 2012 年 11 月 13 日 (火) に千代田グループ IM (インターミーテング) が、みなとロータリークラブ主催で開催されました。場所は都心から少しばかり離れた柏市に在ります「オークビレッジ柏の葉」と言うレストランでした。当日は千代田グループ 66 名の会員が参加致しました、東京赤坂ロータリークラブからは、尾関会長・西澤エレクト・飯島幹事・社会奉仕委員会の吉岡副委員長と委員長の私の 5 名が参加致しました。今回のテーマは「復興支援を語り合う夕べ」でした。ミーテングでは山形県出身で世界的なオーナーシェフの奥田政行先生による「東北の心と食の今」と題する、震災直後に行った炊き出し等の支援活動の話があり、感動的でした。また会場には東京赤坂ロータリークラブを含む千代田グループ 7 クラブが実施した復興支援パネルが展示されており来場者の目を引きつけておりました。なお詳細につきましては来週の週報に写真満載で報告致します。

2. 来る 12 月 20 日開催の忘年家族会では例年行っていますチャリティーバザーは行わず、ビンゴゲームを実施する事と致しましたので、皆さんのご協力をお願いします。なお、詳細は本日皆さんのポストに案内致しましたので宜しくお願い致します。

●次回予告/ 2012 年 12 月 7 日 (金) 第 1235 例会

卓話: 日経 BP 社 執行役員

日経ビジネス発行人 浅見 直樹 氏

幹事報告:

次回例会 11 月 30 日 (金) は、東京麻布 RC との合同例会となっております。皆様ご出席のほどよろしくお願い申し上げます。

慶事披露: 誕生日祝い

小林博茂 君 (11 月 7 日)



報告:

大日方会員の水彩画「富士山」が、トルコ共和国創立 90 周年を記念した 2014 年のカレンダーになりました。



11 月 16 日 (金) / 9 件 18,000 円

累計 461,000 円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

清水 實/尾関会長ご欠席のため緊張しながら会長代行をつとめます。高須康有/松本さん、卓話ご苦勞様です。楽しみにしています。西澤民夫/松本さん楽しみにしています。小林さん、いつもご苦勞様です。尾上寛/小林さんニコニコご苦勞様です。松本さん本日の卓話楽しみにしています。秋吉志郎/世界のトップ交代、イスラエル問題等まさに激動の時代ですね。それはそうとりベンジしたいです。佐藤仁/松本様お話を楽しみにしています。土屋東一/小林さんニコニコご苦勞様です。川邊幸夫/小林様お疲れ様です。小林博茂/11 月はアメリカに続き中国のトップの話題と続きました。そこでもう一つの話は、私小林の誕生日です。お祝いありがとうございます。

出席報告: 会員 40 名/出席 23・欠席 17 名

ビジター: 勝島敏明 (東京南 RC)

前田昌男 (船橋西 RC)

敬称略 2 名

千代田グループIM が開催されました。 テーマ「復興支援を語り合うタベ」

2012年11月13日（火）に千代田グループIM（インターミーティング）がみなとロータリークラブ主催で開催されました。開催会場は従来IMが開催されております都心のホテルではなく、都心から少しばかり離れた千葉県柏市にあります「オークビレッジ柏の葉」という有機栽培農園を持つレストランであり大変ユニークな企画でした。当日は千代田グループ会員等66名が参加いたしました。東京赤坂ロータリークラブからは尾関会長、西澤会長エレクト、飯島幹事、社会奉仕委員会の吉岡副委員長と委員長の私、橋本の5名が参加致しました。今回のテーマは「復興支援を語り合うタベ」であり講演会の講師は世界的オーナーシェフであります奥田政行シェフが「東北の心と食の今」と題して熱く感動的なお話を約1時間に亘り、ご講演いただきました。会場内には千代田グループ7クラブが東日本震災復興支援を実施したパネルが展示されており来場者の目を引きつけておりました。開会は石曽根グループ幹事の司会で16時に始まり、まず、浅川ガバナー補佐が次の通り挨拶されました。

●浅川ガバナー補佐挨拶要旨

本来IMの進行としては点鐘でスタートし、国歌斉唱、ロータリーソング、来客紹介がスタイルですが、今回の会場が都心のホテルではなく、のどかな田園の中での開催なので、従来の型は省略しました。このようなユニークなIMはこれまでは無かったし、これからも無いのではと思っておりますので参加された皆様には思い出として戴ければと思っております。IMで一番大事な目的は各クラブからお集まり戴いた会員の皆様が交流し、親睦を深めながら東日本震災復興を語り合って頂く事と考えています。次に本日講演される奥田シェフはテレビ、映画等で皆さんご存知と思いますが、世界的に有名なシェフであり、本日の懇親会の料理もプロデュースされましたので、お楽しみ頂きたいと思っております。私は奥田シェフと出会い、話を伺って、この方のお話とお料理を皆様に触れて頂きたいと考え、本日の企画といたしました。

●住谷会員から奥田シェフ紹介

次に会場の「オークビレッジ柏の葉」のオーナーで、みなとロータリークラブの会員であります住谷会員から奥田シェフの紹介が次のようにありました。

奥田シェフは山形県出身で数々のレストランを地元農家と共同で事業展開しており東日本大震災では炊き出し等のボランティアを行い復興支援をしております。最近の活動ではダボス会議で日本人の代表料理家として参加したり、ローマ法王に山形県の農産物を食べていただいたりしており、山形県の農産物を日本中や世界中に紹介しております。「オークビレッジ柏の葉」の料理プロデュースも奥田シェフに企画して頂いております。

●奥田シェフ講演「東北の心と食の今」についての要旨

私は一期一会を大切にしようと考えていますので、本日ロータリークラブの皆様との出会いを嬉しく思っています。人達のお役に立ちたいとの思いで料理活動をしていましたら、ダボス会議での料理長やらローマ法王に山形県の食材を使った料理を食して戴いたり、本日のようにロータリークラブの方々と縁が出来たりと大変に有難く思っております。私の料理人としてのスタートは山形県で手作りの店から始めました。店の横には井戸があり、呼び水となりお客様も増えました。資金をかけないよう食器は100円ショップ、メニューは黒板で行い、食材はその日、手に入る食材でメニューを考えました。夢は山形県である地元の食材を使ったメニューを揃える事を前提としたく、また山形県の農産物を全国にアピールしたい為、自分自身が生産者に加わり野菜作りを行う事で夢を叶えようと考えました。野菜作りの基本である地質学を学び生産者と深い関りが出来た結果、魂の籠った野菜が主役である自分の料理作りが出来ました。料理人が生産者に入る事によって美味しい野菜を世界中に伝える事が出来たと思っております。野菜作りと料理を伝える事にプレッシャーもありましたが、笑いに変えよう、楽しむようにしましたら結果も出て来ました。プレッシャーは自分で背負っても誰も助けてくれない事に気が付いた



展示パネルと参加者



奥田シェフを囲んで

結果と考えています。過去に山形県の無登録農薬問題による風評被害がありましたが、これを無くすための試みとしてテレビ番組で発信した結果、山形県は良い食材を作っているのに売れないという事が払拭された事もありました。農家の後継者問題も深刻でしたが、自分が関り庄内の食材は美味しいとするPRが実り、生産者の年収を上げる事に寄与する結果、農業従事者を定着させ、育てる事が出来ました。やがて「食の都庄内」が定着したところで3月11日の東日本大震災に襲われましたが、東北を庄内から元気にしようと決意しました。多くの事を実行していく内に山形県には観光客も戻って来まして、直近のデータでは、鶴岡市が山形県内の観光客数で第一位となりました。また、震災は、貧しい時から思い描いていた「食の都庄内」が90%完成し、次の世代に引き継ぐ時期と成り鶴岡市をユネスコの世界想像都市ネットワーク食文化部門に登録しようとしている矢先でもありました。震災直後ではスタッフの奥様と子供達の安否確認に奔走した事や、電灯が消えて真っ暗闇の中ではお互いが手を繋ぎスタッフ全員の安全を確認し、今後の行動等を考え合いました。この震災は日本の危機と同時に食文化でも原発事故による放射能風評被害となることを心配いたしました。この対策の為、生産者の所に行き共に未来を語ったり、行政に働きかけたりの行動をおこし、山形県を庄内から元気にしようと決意しました。まずは炊き出しの行動を起こしました。炊き出しでは支援物資で使える食材を使用する等の工夫をして実施しました。又、岩手県での炊き出しではテレビ等で共演した他のシェフとも共に頑張ろうと行動を共にしました。炊き出しで考えた事は、被災地で被災された方々が求めている事を考慮しながら被災現場を廻り実態を把握し行った結果、大変喜ばれました。東京からも仲間のシェフ達が応援に来て戴き炊き出しに協力してくれた事に心強く思ったものです。また、被災者の方々に料理を教えたら悲しい事実も料理を作り出すと、お母さん達が元気を取り戻して行く姿を見て大変嬉しく思い、料理の力を思い知らされました。現在もチャリティー等での収益金は放射能測定器等の支援を継続しています。また、炊き出し等で思った事は作業中に共に笑うという事でした。笑う事は元気の源と改めて思いました。良い事を行うと仲間も増えることが明確になり、自分が戦っている時の特筆な出来事として、地元の高校生達が炊き出し支援の為に募金活動を行ってくれたことでした。この出来事は大変嬉しく思いました。最後に奥田シェフから皆様が共に喜びあえる新しい日本を作りましょうと呼びかけられ、この大変素晴らしく感動的な講演を締めくくられましたが、会場で奥田シェフの話を聴いたロータリアンの全ては改めて復興支援を継続的に行う覚悟を持たれた事は間違いありません。

(社会奉仕委員長 橋本年男記)



浅川ガバナー補佐と伴に



奥田シェフ講演



奥田シェフと談笑



オークビレッジ保有の農園



オークビレッジ柏の葉

地区 R 財団補助金セミナー

11 月 15 日、ハイアットリージェンシー東京で、地区ロータリー財団補助金のセミナーがありました。次年度(2013-14 年度)からロータリー財団の補助金の方式が変わります。以下はその概要です。

- (1) 2013 年 1 月までにクラブと地区の間で、次年度と次々年度の会長が署名して覚書を交わします。
- (2) 補助金の種類が地区補助金、グローバル補助金(従来のマッチンググラント)、パッケージグラントの 3 種類になります。
- (3) 地区補助金は地区ロータリー財団資金(DDF)から支払われます。グローバル補助金は国際ロータリー財団資金(WF)から支払われます。
- (4) 補助金の額は、2010-11 年度にクラブが寄附した会員 1 人当たり平均の額で上限が決まります。我クラブは 1 人当たり平均 64.58 ドルで千代田グループの中で最低額、100 ドル未満でしたので補助金の額は最低のレベルです。
- (5) 受けられる地区補助金は上限が 4,000 ドルです。クラブから最低 1,000 ドル出してプロジェクトの規模は最低 2,000 ドルというのが条件になります。
- (6) グローバル補助金は DDF からの補助金と組み合わせて申請します。我クラブが受けられるグローバル補助金の上限は DDF からの補助金の 2 倍です。
- (7) 受けられるグローバル補助金の例
クラブから 6,000 ドル
DDF から 12,000 ドル
(上限クラブからの拠出金の 2 倍)
WF から 3,000 ドル
(クラブからの拠出金の 50%)
WF から 12,000 ドル(DDF からの補助金と同額)
合計 33,000 ドル
WF からの補助金は 15,000 ドルとなりますが、最低額から 15,000 ドルで、15,000 ドル未満の額は受け付けられません。

(8) 受付期間

次年度の地区補助金の受付は 2013 年 2 月 1 日から 5 月 31 日まで。先着順に受け付けて予算額に達すると締め切られます。プロジェクトは 2013 年 7 月 1 日から 14 年 4 月 30 日までに実施して完了しなければなりません。次年度のグローバル補助金の受付期間は 2013 年 2 月 1 日から 14 年 1 月 31 日まで。先着順に受け付けて予算額に達すると締め切られます。プロジェクトは原則として 1 年以内に完了させることになります。

(次年度 R 財団 大日方委員長)

※ 12 月 7 日(金)、12 月 14 日(金)の例会場は、ANA インターコンチネンタルホテル東京の 37F「アリエス」となります。

12 月 20 日忘年家族会ご案内

早いもので今年も年末恒例のクラブ行事である『忘年家族会』の時期となりました。

当日は、夜間例会、ディナーに続き、家族会では元宝塚花組トップ娘役の大島れい氏によるステージを計画いたしました。

家族ぐるみの親睦を深める楽しいひとときとなれば幸いで御座います。

是非、ご家族の皆さまお揃いで、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

と き : 2012 年 12 月 20 日(木)
登録開始 17 時 30 分より
開催・点鐘 18:00
閉 会 21:00

と ころ : ANA インターコンチネンタルホテル東京 B1「ギャラクシー」

会 費 : 会 員 / 25,000 円
ご家族 / 10,000 円

*会員会費は既に上期会費と合わせて頂いております。

*休会会員の方は、当日 25,000 円をいただきます。

*お一人・当日受付にて申し受けます

*準備の都合上、お手数でもご出欠の程を 12 月 12 日(水)必着でお知らせくださいますよう、お願い申し上げます。なお、当日は昼間の例会はありません。

(親睦活動委員会 村山委員長)

忘年家族会でビンゴゲームを実施

来る 12 月 20 日(木)開催の忘年家族会で、今年度は例年行っているチャリティーバザーは行わず、チャリティーを目的とするビンゴゲームを実施する事といたしましたので、皆様のご協力をお願いいたします。なお、ビンゴゲームの内容については下記の通りです。

記

1. ビンゴゲーム実施日: 12 月 20 日の忘年家族会
2. 実施時間 : 30 分間
3. ビンゴ券の購入
参加会員全員と購入を希望されるご家族(購入は当日)
4. 費用 1 枚 5000 円
5. 寄附 購入額から 120,000 円を「風の子会」「泉の家」に寄附する。
6. 景品 購入額から 120,000 円を控除した額を割り振る。(検討中)
7. 景品の提供を歓迎いたします。
12 月 7 日の例会迄にビンゴ担当の関、橋本迄お願いいたします。

(社会奉仕委員会 橋本委員長)